

2030年を見据えた新たな 自治体セキュリティ対策とは？

地方自治情報化推進フェア2024出展のお知らせ

「ネットワーク強靱化、自治体情報セキュリティクラウド」
をテーマに今後、地方公共団体に必要となる
セキュリティインフラ基盤の目指す姿を説明・展示いたします。

開催日：2024年10月9日（水）：9：30～17：30
2024年10月10日（木）：9：30～17：00
会場：幕張メッセ 展示ホール（9・10・11）



ベンダー プレゼンテーション

2030年を見据えた次期インフラのあるべき姿とは

2024年5月に国・地方ネットワークの将来像及び実現シナリオに関する検討会報告書が公表されました。その中では、2030年頃の国・地方ネットワークの将来像が記載されており、「仮想化技術の活用と基盤の共用化」や「ゼロトラストアーキテクチャの考え方の導入」がキーワードとして記載されています。現状の三層分離の構成を基に、次のステップとして弊社が考える次期インフラのあるべき姿を、ご紹介いたします。

日時 10月9日（水） 13：15～14：00

セミナー会場 C会場

プレゼンテーション参加登録
Day1 C会場 C-3

講演者

東日本第1事業本部 パブリック事業戦略部 部長 磯村和信
東日本第1事業本部 パブリック事業戦略部 宇野裕紀美

展示会参加登録はこちらから

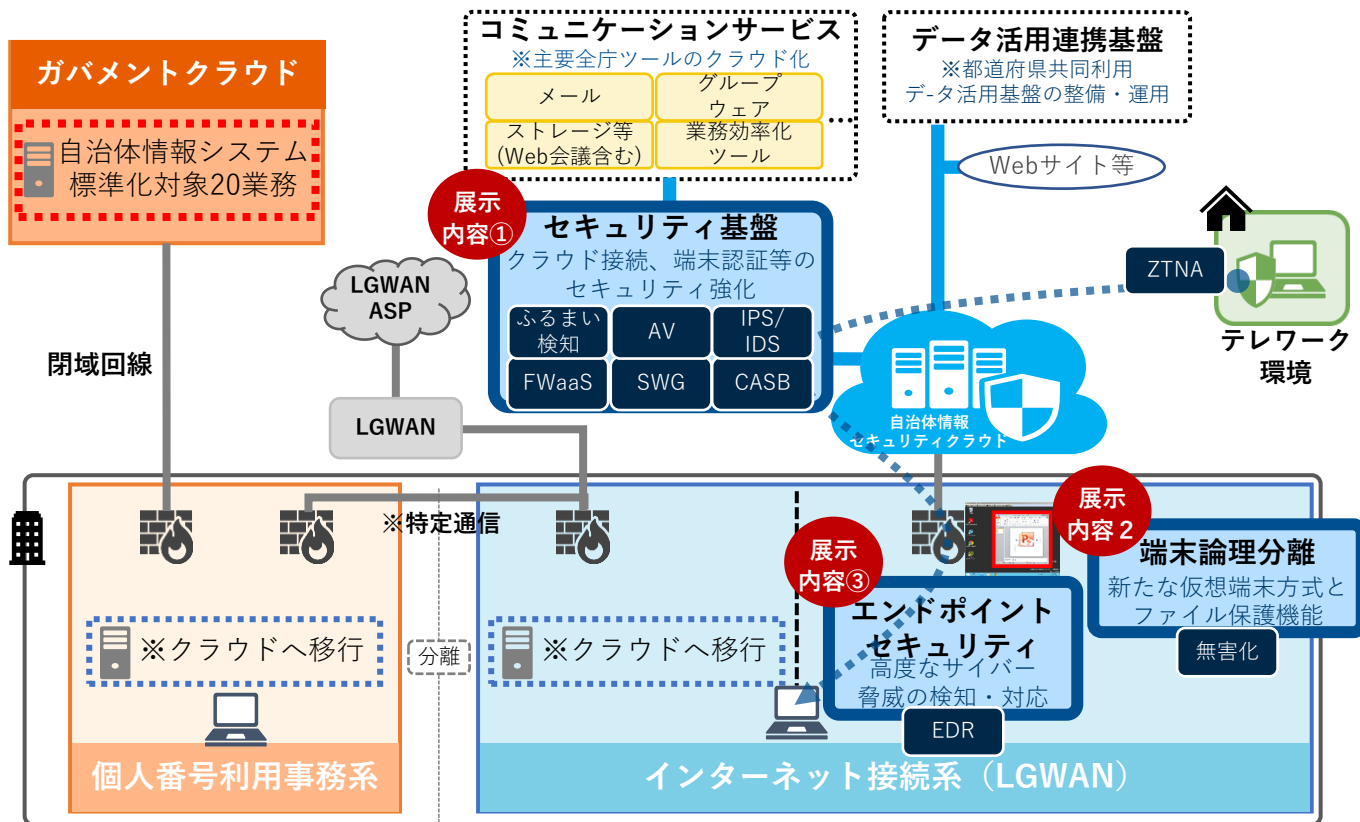
(ベンダープレゼンテーションに参加するためには先に展示会への参加登録が必要です)

<https://fair.j-lis.go.jp/users/register>

是非弊社ブース・ベンダープレゼンまでお越しください。

J-LISフェア2024展示内容ご紹介

行政サービスのクラウドシフトを見据えた、『柔軟かつ効率的・安定的なセキュリティ基盤』を実現するソリューションのご紹介



展示内容① 自治体セキュリティクラウド ゼロトラスト対応

ゼロトラスト (SWG、CASB、ZTNA、FWaaS) を活用した、次世代型のセキュリティクラウド構成により、クラウドサービスを庁内・庁外から安全安心に接続するための仕組みをご紹介します。

展示内容② ネットワーク強靱化 新たな三層の構え

今後予定されている「三層の構え」を見直すにあたり、現行業務をスムーズに継続できる端末の在り方について、お困りではありませんか？ 行政システムのクラウド化に対応するための、新たな仮想端末方式 (セパレート) とファイル保護機能をご提案します。

展示内容③ 無害化に代わるエンドポイントセキュリティ

パブリッククラウドの利用が中心となると、インターネット上からの高度化するサイバー攻撃に備える必要があります。行政端末の通信を継続的に監視し、ランサムウェアやマルウェアなどのサイバー脅威を検知し対応します。

